



平成 20 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社 タナベ経営  
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 田辺 次良  
 ( J A S D A Q ・ コード番号 9 6 4 4 )  
 連絡者の役職氏名 取締役管理本部長兼管理本部総務部長  
 筒井 博貴  
 電 話 番 号 0 6 — 7 1 7 7 — 4 0 0 0

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 5 月 12 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 ( A )	2, 9 4 5	1 1 5	1 4 0	7 0	8. 0 8
今回発表予想 ( B )	2, 9 6 6	1 4 3	1 9 0	7 5	8. 7 2
増 減 額 ( B - A )	+ 2 1	+ 2 8	+ 5 0	+ 5	—
増 減 率 ( % )	+ 0. 7	+ 2 4. 9	+ 3 5. 9	8. 0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	2, 7 7 1	2 2 0	2 5 0	1 3 5	1 5. 6 9

修正の理由

コンサルタント収入は、経営協力契約が計画よりも順調に推移しましたが、診断契約が計画よりも不調に終わり、見込みを下回る見通しとなりましたが、セミナー売上、研修センター売上、S P 事業本部売上が計画を上回った結果、売上高は 0.7% 増加となる見通しです。

上記の通り、売上高が計画より微増する見込みであることと、合理化等による経費削減を行ったこと、営業外収入が計画を上回ったこと等により、営業利益、経常利益ともに公表値を上回る見通しとなりました。また四半期純利益におきましては本社移転後、旧本社ビルを 9 月末までに譲渡の予定でありましたが、売却先が決定に至らなかったため、旧本社ビルは遊休資産となり、減損損失 (特別損失) が発生しております。

なお、通期の業績予想につきましては、変更ありません。

(注) 上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上